

## スキルシート

2025年10月24日 現在

ふりがな		生まれた年	年齢	性別	就労可能日
氏名	S.M	1999年	26歳	男	10月20日
最寄り駅	元住吉駅			経験年数	5年
最終学歴 (専門学校)	大学卒				
得意業務	RPA(UiPath)開発				
取得資格	普通自動車第一種運転免許				

## 【業務経歴】



12	2023/8	2ヶ月	国内大手飲食メーカー向けトレーサビリティPF調査	-	-	-	-	M				
	~		・国内・国外の大手飲食メーカーが利用するトレーサビリティPFをリサーチ ・商流・原産地・生産加工プロセスの管理機能等よりクライアントに対する有望度を整理・提案									
	2023/9											
13	2023/10	7ヶ月	コンサルティング企業基幹システムリプレイス支援	-	-	-	-	M	●	●		
	~		・業務ヒアリングを実施し、現行業務実態の把握や課題抽出を実施 ・ヒアリング結果を基に次期システム要件・To-Be像策定 ・システム調査を実施し、要件・ToBe像を満たす候補システムを選定 ・候補システムベンダー向けに、RFP作成/提出・提案書評価を実施し、ベンダーを選定 ・システム開発フェーズに向け、プロジェクトマネジメント計画書を作成 ・システムリプレイスプロジェクト始動に伴いPMOしてプロジェクトマネジメントを実施									
	2024/4											
14	2024/5	3ヶ月	国内商社向けRPA(PowerAutomateForDesktop)導入支援	Windows	-	-	-	Power Automate For Desktop	M	●	●	●
	~		・基幹システムへの発注情報の登録ツールの仕様書作成、開発、テスト実施 ・VBAを活用した営業数値分析業務自動化のためのツールの仕様書作成、開発、テスト実施 ・Webブラウザへのログイン処理のためのツールの仕様書作成、開発、テスト実施 ・GASを活用したLINEWORKSへのメッセージ送信ツールの仕様書作成、開発、テスト実施 ・Webブラウザより取得したスケジュールのHtml要素を編集し、並び替えるツールの仕様書作成、開発、テスト実施 ・アンケート結果を集計するツールの仕様書作成、開発、テスト実施									
	2024/7											
15	2024/8	11ヶ月	国内製薬企業向けRPA(UiPath)内製化支援	Windows	-	-	-	UiPath/ Power Automate	M	●	●	●
	~		・開発経験がないクライアント(業務担当)に対して、RPA開発が自身ができるよう内製化支援を実施 ・RPAとは何か、どのように開発を進めるか、注意事項は何か等概要を説明するオリエンテーションを実施 ・要件定義を行い、業務概要の整理や入出力ファイルの定義等をしたうえで、設計書の作成をサポート ・開発フェーズでは、処理で扱う一つ一つのアクションの説明や変数の扱い方、安定性の高いフローの作成方法等の基礎的な観点から説明したうえで、開発をサポート ・開発したフローとしては、「添付ファイルを自動印刷する処理」、「システムからファイルを出力し集計する処理」、「Excelを更新し、転記する処理」等 ・ユーザーが開発するPowerAutomateに関するサポートを実施(エラー原因の解消サポートやサンプルフローの作成等)									
	2025/6											

16	2025/7	3ヶ月	国内商社向けEPRリプレイスプロジェクトにおけるPMOサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内商社向けEPRリプレイスプロジェクトを行うITベンダー所属のPMIに対して、PMOとしてのサポートを実施</li> <li>・ToDo管理や課題管理、各種会議体の調整、議事録の作成等を担当</li> <li>・エンドクライアント向けの進捗報告資料の作成</li> <li>・アウトソーシング先の複数のベンダーに対して、進捗や課題の確認を実施</li> <li>・各ベンダーのスケジュール感やエンドクライアントのタスク状況等も踏まえたWBSの作成</li> </ul>	-	-	-	-	-	M		
	~											
	2025/9											

#### 【自己PR】

私はPMOとして培った「業務部門との調整力」と、RPA開発を通じて得た「自動化・効率化の技術力」を兼ね備えており、社内業務の理解とIT推進の両立ができる人材です。

ERPリプレイスプロジェクトにPMOとして参画し、経営層・現場担当者・協力ベンダー間の調整を担当しました。

当初、追加仕様が相次ぎ、協力ベンダーの進捗管理も不十分で、スケジュールが約1か月遅延していました。

そこで、仕様凍結に向けた優先度調整や進捗・課題管理を徹底することで、遅延を解消し、計画通りの進行を取り戻しました。

また、RPA開発では基幹システムへの発注情報登録を自動化し、担当者1人あたり月10時間の工数削減を実現。

現場部門からは「業務が楽になった」と評価され、業務改善に直結する成果を出すことができました。

このように、私は「業務を理解し、改善のためにITを活用できる人材」です。

利用部門との円滑なコミュニケーションと改善提案力を強みに、業務の効率化・安定稼働、さらには継続的な業務改善に貢献してまいります。